



大阪暁明館 だより

2016.10
autumn

大阪暁明館病院 基本理念

大阪暁明館病院は、キリスト教精神に基づく全人的医療を通して、地域住民が心の絆を実感できる病院を目指します。

我々は、

1. 最良の設備、環境を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 愛情と尊敬をもって接し、何が最良かを一緒に考え、温かい医療を実践します。
3. 地域の医療、介護を行う方々と連携し、地域の皆様の健康と生活を守ります。
4. 医療を通じて自己研鑽し、健全な病院運営を行い、社会貢献を果たします。

職員行動指針

永眠者追悼祈念礼拝開催

10月1日（土）午後2時から、当院でこの1年間に亡くなられた方々を慰める第19回永眠者追悼祈念礼拝を、1階インマヌエルホールで開催しました。

関西学院聖歌隊の皆さんが讃美歌を奉唱

礼拝には、古城理事長をはじめ、坂院長、北川看護部長、当院職員、亡くなられた患者様ご家族などたくさんの方が参加しました。

大阪暁明館病院伝道所の岸本チャプレンの司式のもと、関西学院聖歌隊の皆さんに「いつくしみ深い」「主イエスこそわが望み」などの讃美歌を奉唱して頂き、透き通った歌声に職員一同様々な思いを巡らせ、静かな気持ちで礼拝の時間をもつことができました。

追悼の辞では、坂院長が「礼拝を通して、いのちの源である神の平安が天上にある人々の上に、そして地上にあるご遺族の皆さまの上にありますように」と述べました。最後に古城理事長が参加者に向かって挨拶をし、礼拝は滞りなく終了しました。



讃美歌を歌う関西学院聖歌隊の皆さん



大阪暁明館病院伝道所の岸本光子チャプレン

消化器内科のご案内



消化器内科 医長 近藤 隆

科の特色

消化器内科は消化器系臓器(食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肝臓・胆道・膵臓など)に起こる腫瘍や炎症など幅広い領域の疾患に対する診断・治療を担当し、専門の医師が外来診療・入院診療・内視鏡検査等に従事しています。診療を行う際には、患者様に対する分かりやすく丁寧な説明、可能な限り患者様に苦痛を与えない検査・治療に努めるとともに、患者様一人ひとりの社会的背景や希望もくみ取り、患者様にとって最善な医療を提供できるように心掛けています。

消化管臓器(食道・胃・腸)疾患

*上部・下部消化管内視鏡

- 患者様のご希望に応じて、**経鼻内視鏡**(細いカメラを用いた鼻からの検査)や**鎮静内視鏡**(鎮静剤を使用して鎮静下に行う検査)も行っています。ただし、検査終了後も当日はご自身での自動車・バイク・自転車などの運転は不可能となりますので、ご了承ください。
- 癌などの微細病変の早期発見や病変の悪性度診断を目的とした**NBI(狭帯域光観察)内視鏡**も行っています。
- ご希望があれば、入院しての検査も可能です。
- 地域の開業医の先生方と連携し、かかりつけ医から当院内視鏡検査の予約・かかりつけ医での検査結果説明などにも対応しています。ご希望の患者様はかかりつけの先生へご相談ください。
- 検診・ドッグでの上部消化管内視鏡検査も行っています。検診センターへお問い合わせください。

*内視鏡的ポリペクトミー・粘膜切除術(EMR)(胃・大腸)

- 大腸ポリープに対する内視鏡的切除術は、ポリペクトミーあるいは粘膜切除(EMR)を基本としています。ポリープのサイズや部位によっては、粘膜下層切除(ESD)を行うことがあります。

*早期癌に対する内視鏡治療: 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)(食道・胃・大腸)

- 術前の精査で内視鏡治療の適応病変であることを確認し(すべての早期癌が適応となるわけではありません)、患者さまの年齢 や全身状態を考慮したうえで治療方針を決定しています。

- 入院期間は上部消化管のESDでは約10日間、下部消化管のESDの場合は約7日間です。
- 内視鏡治療後、病変を顕微鏡で詳しく観察し、深部浸潤(がん細胞が深く入り込んでいる)や脈管侵襲(血管やリンパ管にがん細胞が入り込んでいる)があれば外科的追加治療を検討します。

*消化管癌に対する包括的治療

- 消化器内科・外科・腫瘍内科・放射線科・粒子線治療部・病理部などと連携し、一人ひとりの患者様の病状にあわせた治療法を選択します。治療法の決定に際しては、患者様に十分な病状説明を行い、ご納得いただいたうえで決めて頂けるよう、心掛けています。
- 化学療法(抗がん剤治療)では、外来化学療法室も設置し、通院での治療を受けられる体制を整えています。(薬の種類や投与スケジュールによって、外来での治療が難しい場合もあります。)
- 癌による消化管の閉塞症状に対するステント留置なども積極的に行っています。

*消化管出血の内視鏡的止血

*胃瘻造設術(PEG)・胃瘻交換

*ヘリコバクター・ピロリ除菌治療

*潰瘍性大腸炎・クローン病の免疫抑制療法・生物学的製剤治療

肝臓・胆管・膵臓疾患

*総胆管結石の内視鏡治療

- 総胆管結石に対しERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)を行い、結石を除去します。
- 炎症が強い場合には可及的にドレナージチューブを留置し、後日炎症がおさまるのを待ってから結石の除去を行う場合もあります。
- 結石除去の際、基本的には十二指腸乳頭切開術(EST)を併用して行います。結石のサイズや個数に合わせて、使用する器具を選択し、適切に結石除去を行います。

*B型・C型ウイルス性肝炎の抗ウイルス療法(核酸アナログ、インターフェロンなど)

*悪性胆道狭窄のステント挿入治療

*超音波ガイド下肝生検、腫瘍生検、のう胞ドレナージ

新入職医師を紹介します



一般内科 医長
中嶋 章浩



- 出身大学
近畿大学医学部卒業
- 専門 一般内科
- 資格
日本外科学会専門医

心臓血管病センター 医長
外山 康之



- 出身大学
久留米大学医学部卒業
- 専門 循環器一般
- 資格
医学博士
日本循環器学会認定専門医
日本高血圧学会専門医
日本心血管インターベンション治療学会認定医

泌尿器科 医長
松下 千枝



- 出身大学
奈良県立医科大学卒業
- 専門 泌尿器科一般、
排尿障害、女性泌尿器科
- 資格
日本泌尿器科学会指導医・専門医

整形外科 医員
岩上 栄伸



- 出身大学
奈良県立医科大学卒業
- 専門 整形外科一般
- 資格
日本整形外科学会会員

お近くの「かかりつけ医」ご紹介



**福島吉野スマイル
内科・循環器内科**

「2016年10月1日に開院しました。地域で一番笑顔を発信できるクリニックを目指しています。患者さんの笑顔のために、考えられるすべての努力を惜しみません。どんな小さな困ったことでも結構です。お気軽にご相談下さい」

当院でできる検査 X線検査、迅速血液検査、心電図検査、心エコー図検査、頸動脈エコー図検査、PASESA、肺活量検査、骨塩定量検査、ホルター心電図検査

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8時45分～12時00分	/	●	●	●	/	●	●
14時30分～18時00分	/	●	●	●	/	●	●

※月曜、金曜休診

〒553-0006 大阪市福島区吉野11-12

☎06-6147-4400 <http://sakaguchi-smile-clinic.com/>



院長
坂口海雲



院内七夕コンサートを開催しました!

7月2日(土)午後2時から、院内七夕コンサートを開始しました。入院患者さまやご家族など多くの方が単位ご来場頂き、午後のひと時、素敵な音楽を楽しんで頂きました。

始めに、職員有志からなる大阪暁明館病院聖歌隊が「見上げてごらん夜の星を」「千の風になって」など3曲を合唱。続いて、フルートアンサンブルの「ポルトボヌール」の皆さんに、「リトルマーメイドより part of your world」「四季の詩情(春がきた～春の小川～たなばたさま～もみじ～雪)」など4曲を演奏して頂きました。最後に此花少年少女合唱団とフィオリムジカーリの皆さんに「たなばたさま」「なつまつり」「さよならのテープ」など5曲を歌って頂きました。子供たちの歌声に、皆さん笑顔で拍手をされておられました。



ポルトボヌールの皆さん



此花少年少女合唱団とフィオリムジカーリの皆さん



大阪暁明館聖歌隊

当院看護師が人命救助で感謝状

当院の外来看護師、谷口千洋さんが、路上に倒れていた男性の人命救助に貢献したとして大阪市此花消防署から感謝状を贈られました。

谷口さんは、4月24日(日)午後7時30分頃、此花区四貫島の路上で、突然意識を失い倒れていた70代の男性を発見。

119番通報するとともに、観察を実施し、呼吸停止であったため、直ちに胸骨圧迫(心臓マッサージ)を行い救急隊に引き継ぎました。迅速な対応の結果、救急隊到着時には回復は認められませんでした。救急車内でAEDによる除細動を行い、車内にて呼吸、脈拍ともに回復しました。この功績が求められ、後日、此花消防署長から感謝状が贈られました。



Facebookを始めました!

社会福祉法人大阪暁明館のFacebookを始めました!

病院で行われるイベントや講習会などのご案内、地域活動の報告などを行っていきたく考えています。皆さん是非ご覧下さい。



大阪暁明館だより

平成28年10月20日発行



社会福祉法人 大阪暁明館
大阪暁明館病院

〒554-0012 大阪市此花区西九条5-4-8

電話(06)6462-0261(代表)

FAX(06)6462-0362

<http://www.gyoumeikan.or.jp>